

労働者の自己解放めざす運動を

資本主義の延命はかるレジーム転換の策動と対決

支配階級は戦争で人々の目を支配体制の内部矛盾からそらそうとしている

浅川雅己 (国鉄闘争全国運動呼びかけ人)

国鉄闘争全国運動呼びかけ人の浅川雅己さん (札幌学院大学教授) に11・3労働者集会に向けてのアピールを寄せていただきました。

今日の支配階級による攻撃は、総合的・体系的な「レジーム」転換の策動です。労働者の生活を破壊し、犠牲を強いることで資本主義の延命を図っています。社会のあらゆる領域で、資本の支配構造の再編・再建を目指した攻撃が行われています。

国鉄分割民営化と選別解雇、関生弾圧、昌一金属労組への倒産・身売り攻撃に加え、協同的労組すら存続



を許さない「労使自治」「高度な産業自治」の提言がなされています。

これらは、労働時間規制の例外措置の拡大や規制の有名無実化、労組なき社会の実現によって搾取強化と戦争動員への抵抗を根絶やしにしようとするものです。

琉球弧のミサイル配備について、宮古島のある市議は「有事なら島外避難もやむなし」と国と自治体が計画を立てる昨今、『ミサイルを配備すれば島は攻撃されない』としてきた説明は何だったのか」と疑問を呈しています。ミサイル配備と「反撃」は住民を戦闘の直中に陥れる暴挙です。

北海道におけるフピダス (最先端半導体の量産をめざす国策会社。22年に設立され、千歳市に巨大工場を

建設中) の操業も「レジーム」転換策動の一部です。

操業に伴い電力需要がひっ迫するとの口実で原発再稼働を推進しようとする動きがあります。また、安平川からの取水で苫小牧周辺の環境に影響が出ることが懸念されています。さらに、PFASなどを含む排水が千歳川を汚染する危機もあります。

米中対立の焦点の一つである半導体の生産供給網の再構築をめぐる道民の生活と生命が危機にさらされる事態となっています。

共闘と連帯の必要性

これまでこうした課題に個別に取り組んできた人々のあいだにも、こうした課題を生み出しているものが、同一の勢力による一つの目的に



沿った攻撃であることが明らかにあり、共闘と連帯の必要性が自覚されつつあります。

支配階級は、資本主義の延命を図るために、戦争によって人々の目を支配体制の内部矛盾からそらそうとし、戦争に反対し、資本主義を乗り越えようとする階級的労働運動を根絶やしにしようとしています。

しかし、労働者に犠牲が強いられる社会には持続性などありません。3労組の共闘を先頭に、反戦、環境、鉄道再建などの課題に取り組む人々と共闘を進め、11月集会への結集を勝ち取り、資本主義の乗り越え労働者の自己解放を目指す運動をさらに発展させるために共に闘いましょう。

11・3全国労働者総決起集会

11月3日 (日) 正午 日比谷野外音楽堂

午後3時 改憲阻止! 1万人行進 (東京駅へデモ)